



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4029 号 2017.11.20 発行

ダウン症に理解を 東京でパレード NHK ニュース 2017 年 11 月 19 日



ダウン症への理解を深めてもらおうと、東京・新宿でダウン症がある人やその家族が歌やダンスを披露したり、パレードを行ったりする催しが開かれました。

この催しはダウン症がある人たちの元気な姿を見てもらい理解を深めてもらおうと、親たちで作るNPOが毎年この時期に行っています。

東京・新宿区の公園にはダウン症がある人やその家族、それに支援者などお

よそ1500人が集まりました。はじめに特設ステージで、歌に合わせて子どもたちがダンスを披露し、会場からは大きな拍手が送られていました。

その後、参加者は東京都庁の周りをパレードし、旗や風船を持ったり、道行く人たちに手を振ったりしながら笑顔で歩いていました。

ダウン症のある2歳の子どもと参加した39歳の母親は「みんなで集まって歩くのは楽しく、ダウン症のことを多くの人に知ってもらおうととてもよい機会になると思います」と話していました。

主催したNPOの古市理代理事長は「ダウン症のある人たちは元気に明るく生活している。障害のある人もない人もともに尊重しあえる社会になってほしい」と話しています。

身長161センチ「背の低い自分、どこまでできるか」知的障害者バスケW杯へ 東大阪の坂本龍哉さん

産経新聞 2017 年 11 月 19 日

知的障害者バスケットボールのW杯に日本代表として出場する坂本龍哉さん＝大阪府東大阪市



22日から4日間、イタリアで開かれる知的障害者バスケットボールのワールドカップ（W杯）に、大阪府東大阪市稲葉の坂本龍哉さん（19）が日本代表の一員として出場する。身長161センチと高いほうではないが、バスケを始めて5年目で初の世界大会出場で、19日に日本を出発する予定。「世界一を目標に、背の低い自分がどこまでできるか試したい」と意気込んでいる。（桑村朋）

中学3年生で知的障害と診断された坂本さんは、平成25年に進学した「たまがわ高等支援学校」（東大阪市）で教諭に熱心に勧められ、野球からバスケットに転向した。それまで体育の授業などでやったことがある程度だったというが、才能は開花し、翌26年には早くも日本代表に選ば

れたという。

現在は、地元の就労支援事業所などで働きながらほぼ毎日練習。平日は一般クラブチームに交じり、土日は母校のたまがわ高等支援学校で汗を流す。帰宅後は自宅でドリブル練習をするなどバスケ一色の生活だ。

「コミュニケーションが苦手」と自己分析するが、試合でのポジションは司令塔役のポイントガード。日本代表としての練習では、声を出す訓練を行ってきた。昨年8月、初めて海外チームのオーストラリアと親善試合をしたときは、相手の体格の大きさに苦戦した。海外勢とあたる今回のW杯では雪辱を期す。

これまでは金銭負担ができず、断ってきた海外遠征だが、今回は周囲の支援もあり、初めて参加した。

坂本さんをはじめ18～36歳の選手10人が代表として選ばれた日本や、エジプトやフランスなど計6カ国が参加する。坂本さんは「身長は低いけど、いいパスを出し体格の大きい選手に勝ちたい。将来、世界一になるのが夢ですね」と話している。

#### 【用語解説】知的障害者バスケットボール

一定の知能指数であることが証明されれば、選手として登録が可能。ルールは通常のバスケットボールと同じ。2000（平成12）年シドニーパラリンピックで、スペインが男子バスケットボールで健常者を知的障害者と偽り金メダルを獲得したことから、知的障害者はパラリンピックへの参加が認められておらず、W杯が最大の大会となる。日本はこれまでW杯の5位が最高。

### キーボードに思いませ 脳性まひの四十物さん（富山）が自伝



北日本新聞 2017年11月19日

脳性まひのため生まれつき体に障害がある富山市若竹町の四十物（あいもの）千鶴子さん（65）が今月、自伝を自費出版した。長男を産み育てた経験や家族との触れ合いを、徐々に重くなる障害に苦しみながらも自らキーボードに向かい続けて、したためた。四十物さんは「障害者としての自分の生き方を、自分の言葉で伝えたかった」と話している。（社会部・吉崎美喜）

四十物さんは障害者の自立・社会参加を支援する富山市のNPO法人「文福」の事務局長を務めている。

仕事では旧姓の「河上」を使っており、自伝も旧姓で書いた。

タイトルは「脳性マヒの私が六十五歳の現在書いておくこと」。自らの言葉で自分の半生を孫たちの世代に伝えたいと、昨年1月から1年半かけて執筆した。家族と過ごした子ども時代や夫の和雄さん（66）との出会い、30歳の時に男の子を産んだこと、孫2人の誕生、障害者の権利を守るために取り組んだ活動を振り返っている。

中でも出産と子育てには思い入れが強い。

当時、子どもを持つ脳性まひの人は周囲に少なかった。赤ちゃんを抱けないため、和雄さんに抱っこしてもらって授乳するなど悪戦苦闘した。「夫やヘルパーらがあやすため、息子が自分以外の人に懐くのを寂しく感じたこともあった」と懐かしむ。自伝には「（長男は）数え切れないほどの人たちの協力で育っていった」と記している。

脳性まひの人はもともとの障害に加え、手足のしびれや歩行困難などの「二次障害」が生じることがある。四十物さんは5年ほど前から二次障害が重くなり始めた。原稿を書く際、キーボードを打ち間違えることが幾度となくあったが、「自分の人生を伝えたい」という気持ちは薄れることがなかった。

「地域で暮らしながら障害福祉サービスを活用し、子どもを育てた経験が、同じような

障害を持つ他の人の役に立つといい」。四十物さんは自伝に込めた思いを語った。

四六判 205 ページ、1300 円。問い合わせは和雄さん、電話 090 (8092) 6474 (正午～午後 8 時) か、メールアドレス nanamiya@ae. auone-net.JP

## 技術と力、370 人出し切る 22 種目で熱戦 アビリンピック



下野新聞 2017 年 11 月 19 日  
手際よく「喫茶サービス」の課題をこなす本県選手ら  
＝18 日午後 3 時 10 分、宇都宮市のマロニエプラザ

障害者が技能を競い合う第 37 回全国アビリンピック 2 日目は 18 日、宇都宮市内の 3 会場  
で全 22 種目の競技を行った。全国から集まった約 370 人の選手は日頃の練習の成果を披露し、熱戦を繰り広げた。

障害者の職業能力向上と雇用促進のために毎年開かれるアビリンピックは今年、本県初開催。本県からは約 30 人の選手が出場した。

この日、会場の一つとなった同市元今泉 6 丁目のマロニエプラザでは接客の技術を競う「喫茶サービス」や、花束などを作る「フラワーアレンジメント」、書類の郵送準備と仕分け作業を行う「オフィスアシスタント」など 9 種目が行われた。緊張感が漂う中、選手は真剣なまなざしでそれぞれの競技課題に取り組み、実力を出し切った。また会場には熱戦をひと目見ようと、県内外から多くの来場者が訪れ、選手の奮闘を見守った。

## 変わる刑務所「臭い飯」販売も 再犯防止へ市民に届低く 京都新聞 2017 年 11 月 19 日 受刑者手作りの将棋盤や木工製品などが販売された 京都矯正展（京都市山科区・京都刑務所）



閉鎖的なイメージの強い刑務所が、地元住民との交流を進めている。刑務所内を見学してもらったり、受刑者が食べる「監獄飯」を販売したり…。ユニークな試み続ける背景には、出所した人が再び犯罪に手を染めないよう、雇用や住居の確保に向け、地域の理解を深めたいという事情がある。

ずらりと並べられた将棋盤や積み木のおもちゃ。20 万円を超える精巧な木製食器棚も

ある。10 月下旬、矯正展を開催中の京都刑務所（京都市山科区）を訪ねた。地域住民を招く恒例行事で、今年で 40 回を数える。刑務官が受刑者の手作り品を来場者にアピールし、地元の更生保護女性会のメンバーがコーヒーを振る舞う。

特に盛況だったのが所内の見学だ。記者も列に加わり、炊事場へ向かった。案内役の刑務官によると、受刑者が毎食調理し、カロリーも調整する。ホワイトシチューやサラダなど、この日の昼食メニュー 4 品が展示されていた。刑務所につきまとう「臭い飯」のイメージとはほど遠く、健康管理の行き届いた食事環境に驚いた。

京都刑務所の敷地は広大で、甲子園球場約 3 個分に相当する。他に見学できたのは作業場や風呂などごく一部だったが、一緒に見学した刑務所近くに住む京都橋大 2 年平見真悟さん（20）は「塀の中から響く受刑者の掛け声にも、更生という目的があると分かった。施設は清潔で、人としての尊厳が保障されていると思った」と感想を話した。

滋賀刑務所（大津市）でこの秋にあった矯正展では、受刑者向けレシピを基にした「監獄カレー」を販売した。「麦飯のにおいが独特」と好評で、200 食（1 食 400 円）を完



売した。

矯正展は全国の刑務所で行われているが、刑務所が地域との交流に力を入れるようになったのは、ここ10年余りのことだ。きっかけは、名古屋刑務所で2001年、男性受刑者が刑務官から虐待され死亡した事件。刑務所の閉鎖性、密室性が問題となり、06年に施設運営の透明性確保などを盛り込んだ刑事施設収用法が施行。施設開放などが進む中、昨年度の全国の矯正展来場者は約38万人で、統計を取り始めた08年度の約1.5倍に増えた。

受刑者の再犯防止に向け、地域にかかる期待は大きい。犯罪白書によると、刑法犯で検挙された人に占める再犯者の割合は年々上昇し、16年は過去最悪の48.7%を記録した。出所後の仕事や住居確保は容易ではない。京都刑務所の加藤昇・首席矯正処遇官は「受刑者の更生支援は、刑務所だけで完結しない。地域の協力を得られるように努力を続けたい」と強調する。

同刑務所は昨年12月、自然災害時に避難住民を所内に受け入れる訓練を初めて行い、住民約270人が足を運んだ。矯正展運営をサポートする保護司の大林真弓さん(55)＝山科区＝は「刑務官が地域の催しに参加するようになるなど、刑務所職員の意識が変ってきた。刑務所の内外で、受刑者の更生に良い影響があるのではないか」と話す。

#### 元阪神・淡路コミュニティ基金代表 今田忠氏死去 神戸新聞 2017年11月19日

阪神・淡路大震災後、ボランティア団体などを支援する「阪神・淡路コミュニティ基金」の代表を務めた今田忠(いまだ・まこと)氏が18日午後9時46分、がん性腹膜炎のため、神戸市内の病院で死去した。80歳。大阪府豊中市出身。自宅は神戸市灘区土山町16の1。葬儀・告別式は近親者のみで行う。喪主は妻佐和子(さわこ)さん。

東京大卒業後、日本生命財団、笹川平和財団などを経て、96年5月、被災地支援のため設立された同基金の代表に就任した。同基金は、仮設住宅の訪問活動や障害者・高齢者支援などに取り組む団体へ助成。今田氏は基金解散の99年まで代表を務めた。

#### 性的少数者の虹色、伝統工芸に 京都で動き広がる 京都新聞 2017年11月19日



レインボーフラッグの6色でセットにした和ろうそく。世界組織のLGBT団体にも贈った(京都市左京区)

京都の伝統工芸の職人の中で、LGBT(性的少数者)の尊厳

を象徴するレインボーフラッグを彩る6色を製品に取り入れる動きが広がっている。LGBTに対する社会の理解が広がり、当事者向けの商品やサービスも充実していることから、工芸品でも新たな需要につなげる狙いだ。当事者以外でもなじみやすいカラフルさが魅力で、観光施設やホテルも専用の売り場を設けて後押ししている。

##### ■和ろうそく

仏壇向けろうそくを製造する中村ろうそく(京都市伏見区)では、レインボーフラッグの絵をあしらったり、赤、青、黄など6色セットにしたりした色鮮やかなろうそくを開発。LGBTの関連イベントで販売した。LGBTの人たちに快適な旅行情報を発信する世界組織「国際ゲイ&レズビアン旅行協会」の代表が今春に来日した際にもプレゼントし、商品をPRした。田川広一社長(54)は「LGBTとともに、敷居が高いと思われがちな

工芸品に関しても偏見がなくなればうれしい」と思いを語る。

金箔（きんぱく）加工の二鶴工芸（南区）は、型紙を使って6色の箔を接着させたガラス皿やデニム地のかばん、竹製のワインボトル立てなどに虹色の柄を用いた。個展で販売したところ、中には完売する商品もあった。職人の上仲昭浩さん（48）は「LGBTの人にもそうでない人にも好評。虹色はデザインに取り入れやすく、多くの人に受け入れられる」と手応えを感じている。

#### ■数珠ブレスレット

虹色で数珠ブレスレットの新商品を開発したのは、京念珠老舗の中野伊助（下京区）だ。それぞれの製品で組みひもの色を変えて全6色展開とし、さりげなくLGBTとのつながりを打ち出した。ナブキンを束ねるリングも6色の天然石で試作し、LGBTに理解を示すレストランへの提供を見込む。中野恵介社長（55）は「さまざまな石を使う数珠は多様性のイメージに合うのでは」とさらなる商品開発に意欲を示す。

#### ■市場の広がり追い風に

これらの商品を販売面で応援する動きも広がっている。京都伝統産業ふれあい館（左京区）では、虹色の工芸品を展示販売するコーナーを設けた。LGBTの海外客対応や同性同士の婚礼プランなどの先駆的な取り組みを進めてきたホテルグランヴィア京都（下京区）は、京都の職人と協力してLGBT向け工芸品のオリジナル商品を開発中だ。年内に数点を完成させ、ホテル内の土産売り場で販売する。

同ホテル接客部の池内志帆担当部長は「日本では同性婚などの法制度が先進国の中で遅れており、LGBTについて知らない人がまだ多い。京都の伝統工芸の技術と作品力を通じ、多くの人に関心を持ってもらう機会になればいい」と、LGBTに対する理解につながることを期待する。

電通ダイバーシティ・ラボ（東京都）の調査によると、国内でLGBT層の年間消費額は5・9兆円。世界ではLGBT向け旅行サービスや商品が同2・3兆円に上るとの試算もある。市場の広がりを追い風に、虹色を取り入れた京都の工芸品が注目を集めそうだ。

<LGBTとレインボーフラッグ> レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシャル（両性愛者）、トランスジェンダー（性同一性障害など心と体の性が一致しない人）の英語の頭文字を取った用語。民間の調査によると、国内で該当する人の割合は7・6%。LGBTの権利を訴えるパレードで目にするレインボーフラッグは、1970年代に米国の芸術家ギルバート・ベイカー氏が多様性を表現するため考案したとされる。色の構成は変遷を経て現在は6色が一般的になっている。

知って欲しい「ヘルプマーク」 カンテレ 報道ランナー 2017年11月14日

「十字」と「ハート」を組み合わせた、このマーク「ヘルプマーク」というマークなんですが、ご存知でしょうか？  
病気や障害などで配慮が必要なことを示すマークで  
東京では認知が進んでいるんですが、大阪府では、ことし6月、ようやく導入されました。  
このマークをもっとたくさんの人に知って欲しいと願う人がいます。  
先日、報道ランナーに、1通のメールが届きました。

「いつも報道ランナー拝見しております。  
わたしは全身性エリテマトーデスという、膠原病の一種を持っています。  
この病気は外見では全く分からず、でも人より非常に疲れやすく外出するのはとてもしんどいです。  
そんな状況を打開してくれるのがヘルプマークです。ぜひニュースでも取り上げて頂けませんか？」

【岡田さやかさん】「冷却材いれて。ここにポケットあるんで。」  
メールをくれたのは、大阪府茨木市に住む、岡田さやかさん（31）。

【岡田さやかさん】「たぶんもうみんな涼しいと思うけど、私は朝から汗だくで、クーラーつけないと。日光過敏でしてても斑点が、赤くなっちゃうので」



一見、元気に見えますが、病気の影響で、週2、3回の通勤には保冷剤と日傘がかかせません。

幼い頃から運動が好きだった岡田さん。しかし大学2年のとき、発熱し、突然意識を失いました。

【岡田さやかさん】「化粧取ったらこんな感じですよ。この状態で外歩いたらみんな振り返るんで」

彼女が発症したのは、頬の赤い大きな斑点が特徴の「全身性エリテマトーデス」。免疫に原因不明の異常がでて、自分の細胞や臓器を攻撃してしまうことで、全身の倦怠感や、関節の痛みに襲われます。全国に患者が6～10万人いると言われる難病です。

【岡田さやかさん】「体制云々じゃなくて座っても（腰に）激痛くるし立っても激

痛くるし」

【大阪大学附属病院 免疫内科 嶋良仁医師】「ずっとステロイドのんでるから腰椎確認した方がいいね」

病気の影響で5年前、両足の大腿骨の一部が壊死して、人工関節にする手術をした岡田さん。

去年には、肝臓にも腫瘍が見つかるなど、次々に症状がでて、いまでも月に1回の通院がかかせません。

【大阪大学附属病院 免疫内科 嶋良仁医師】「この病気は熱が出て炎症反応が血液検査ででないという特徴があります。倦怠感、腎臓が壊れることでの体の具合の悪さ、骨が壊れると当然痛みも激しくなるので、体の内部の障害からくる様々な症状に、（患者は）絶えず耐えておられると。」

外見上も、検査でも、症状が分かりにくい、「見えづらい」病気なのです。

多いときは1日に30錠近い薬を飲み、定期的にステロイドを投与する副作用で、顔や体に脂肪がつきやすく、発症から体重はおよそ30キロ増えました。

【母親】「大丈夫？いける？」

【岡田さやかさん】「ちょっといけません。カーテン閉めて・・・あ、ーしんど。」

ガン治療の研究者を目指していましたが、病気のため、夢は諦めました。

【岡田さやかさん】「朝起きたらしんどいし、仕事行ったら疲れてへとへとですし。」

人に分かってもらえない伝えられない、度合いも分からない。毎日症状もしんどさも違うし。」

そんな岡田さんが今、期待を寄せているのが「ヘルプマーク」です。

人工関節や、視覚・聴覚障害など、外見からではわからない病気や障害、妊娠初期など、配慮が必要な人が身に付





けるマークです。

#### 【PR動画】

「私は知らなかった。ヘルプマークを。知らなかった、身に着ける人の気持ちを」  
5年前、東京都が考案し、いま全国に取り組みが広がっています。  
大阪府では今年6月に導入され、これまでに約1万2千枚が配布されました。  
座ってできるオペレーターの仕事をしている岡田さん。  
電車を2本乗り継ぐ通勤中、いつも必ずヘルプマークを身につけています。



マークを持って5ヵ月。  
まだ電車で席を譲ってもらったことはありません。

【岡田さやかさん】「日にもよりますが、混んでるとなかなか2駅ではあかないんでね。(立ってるのと座ってるので違いますか?) 膝の負担が違うから。(関節に) きますね」

ヘルプマークの配布を始めた大阪府の担当者は、認知度アップが最大の課題だと

話します。

【大阪府福祉部障がい福祉室 障がい福祉企画課 武矢幸信課長】「初めてこれを見てヘルプマークってわかる人は少ないと思う。導入時から公共交通機関とかスーパーとかにポスターの掲示をして、十分ではないけど、根気強く周知していかないといけないと思う」

【岡田さやかさん】「目に見えないからこそ、自分に合った治療をいち早くしてもらおう手段にもなると思うので、究極命を救う可能性のあるマークだと思ってるし、病気がどういふものかっていうよりも、何かある人なんだなってわかってもらえたらと思います」

「見えないもの」を「見える」形にするヘルプマーク。

まずはマークを知るところから始まります。

#### 宮古の救護施設で男性殺害容疑 同室の69歳男を逮捕 河北新報 2017年11月19日 事件があった救護施設「松山荘」=18日午前、宮古市松山



宮古市の社会福祉施設で同室の男性を殺害したとして、宮古署は17日深夜、殺人の疑いで、本籍岩手県山田町の無職芳賀幸吉容疑者(69)を逮捕した。容疑を認めている。

逮捕容疑は17日午前4時15分ごろ、宮古市松山の救護施設「松山荘」で、2人部屋のベッドで寝ていた本籍山田町の無職千代川一郎さん(76)の口をタオルのような物でふさぎ殺害した疑い。司法解剖の結果、死因は窒息死だった。宮古署などによると、当直職員が17日午前6時45分ごろ、芳賀容疑者から「人を殺した」と告げられ、意識不明の状態でベッドに横たわっている千代川さんを発見した。動機や殺害に至った経緯を調べている。施設によると、2人は精神障害を患って入所していた。トラブルは確認されていなかったという。松山荘では2008年にも、男性入所者が隣室の男性入所者を包丁で刺殺する事件が起きている。

中村光一施設長は「取り返しのつかない事件が起こってしまった。原因を検証し、安心安全な施設づくりのために改善策を考えたい」と話した。

宮古署は18日、殺人容疑で芳賀容疑者を送検した。

【救護施設「松山荘」】身体や精神に障害があり、独立した生活を送ることが困難な人たち

の保護施設。1973年に開所し、社会福祉法人「岩手県社会福祉事業団」が運営している。2人部屋が42室、個室が16室あり、入院中も含めて100人が入居している。

## 保育所入所の選考基準、公開進む 京都・乙訓地域

京都新聞 2017年11月19日



公開が始まった選考基準について、長岡京市の担当者の説明があった保育所入所に関する講座。子連れの母親たちが耳を澄ませた（同市天神4丁目・中央公民館）

京都府の乙訓2市1町で2018年度当初の保育所入所の申し込みが12月に控える中、長岡京市が入所の可否を決める選考基準の公開を始めた。待機児童問題が大きくなる中、選考に落ちた保護者の疑念は根強く、市は「透明性を確保したい」とする。待機児童が大幅に増えた向日市でも公開に向けた作業を進めている。

17年度当初で60人の待機児童が出た長岡京市では11月、入所申込書の配布開始に併せて18年度入所から適用する新たな選考基準を公開した。市こども福祉課は「18年度も待機児童が出る恐れがある中、納得につながる材料を示して公平性を担保する」と説明する。

選考基準は、日常的な就労時間を40～10点の11段階に換算したり、疾病や介護の事情に即して設定したりした「基本指数」に、認可外保育園の利用などに対応する「調整指数」を増減させ、入所希望世帯それぞれの持ち点を算出。上位者から希望する保育所への入所を決めていく。

非公開だった従来の基準から点数配分を細分化して持ち点に差がつきやすい仕組みにした。同点の場合の優先順位の付け方も明示。希望者は指数の条件設定と点数配分が一覧で分かり、自己採点できる。来年2月に予定する1次選考の結果が決まった後、市は世帯の持ち点を通知する方針という。

待機児童の発生が続く中、市によると、希望がかなわなかった保護者からは例年「落ちた根拠を示して」「基準がわからないから信用できない」などの声が寄せられる。昨年7月に厚生労働省が、点数付けの基準の公表に努めるよう各自治体へ通知したことを受け、協議を本格化させた。

ただ、市の担当者は「反作用として『保活』が過熱するかもしれない」と懸念も漏らす。持ち点積み増しのために認可外保育園や一時預かりを利用するなど、保育が必要な生活実態が反映しづらくなったり、経済力で持ち点に差が現れたりする恐れがあるからだ。

11月上旬、市内であった保育所入所に関する講座では市職員が選考基準を説明。参加した育児休業中の会社員女性（35）＝同市馬場＝は「入所に有利か不利かの判断材料になる。職場にどう復帰するか考えやすいし、仮に選考に落ちた時も数字で明確に分かったほうがいい」と話した。

17年度当初で国基準の待機児童が38人と16年度当初から32人増えた向日市では、従来の基準を細分化する見直し作業を進めている。新たな基準表を示して持ち点を把握してもらう方針だが、公開時期は調整中。「早ければ12月。遅ければ来年の再来年度当初入所申し込み段階」（市子育て支援課）と流動的だ。

大山崎町では、年度当初に待機児童は出ていないものの、17年度当初の選考で第1希望がかなわないケースが目立ち始めたことから、問い合わせがあれば担当窓口で基準表を見せているという。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

